<別記　6>

令和3年度　再評価対象事業一覧表

令和3年11月作成

整理番号	事業計画								再評価の理由※２	再評価の視点												前回審議年度	対応方針（原案）
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期 着工	工期 完了	事業費（億円）		事業進捗の状況及び見込み 前年度迄事業費（億円）	事業進捗の状況及び見込み 進捗率（%）	事業進捗の状況及び見込み 用地進捗率（%）※３	事業進捗の状況及び見込み R3年度事業費（億円）	事業進捗の状況及び見込み R4年度以降事業（億円）	上位計画への位置づけ、関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析 B／C 当初※１	費用対効果分析 B／C 現行	費用対効果分析 分析基礎の要因の変化	コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無		
						上段：当初※１ 下段：変更																	
道建-1	道路改築事業	一般県道奥ノ平時津線（時津工区）	県	西彼杵郡時津町	延長　L=3,400m 幅員　W=7.0（10.5）m	H26	R4	133	再評価後変更⑩	126.4	88.5	100（100）	6.5	10.0	・長崎県総合計画チェンジ＆チャレンジ2025 基本戦略 戦略3-2（1）「人流・物流を支える交通ネットワークの確立」に位置付けられている。 ・西彼杵道路の整備状況 指方バイパス(H17～H23完成) 西海パールラインⅠ期（H3～H10完成） 西海パールラインⅡ期（H9～H17完成） 小迎バイパス（H13～H24完成）	・近隣の時津第１０工区で埋立造成・販売等を進めており、隣接する国道２０６号の交通量が増加している状況。	・「時津町」「西彼杵道路・長崎南北幹線道路建設促進期成会」より整備促進の要望を受けている。	1.40	1.16	【プラス要因】 ・貨物車原単位の変更（費用便益分析マニュアル改定に伴う） 【マイナス要因】 ・事業費の増（土質の相違に伴う工事内容の変更）	・トンネル内装版について、新工法の普及に伴い、より経済性で優れる資材に変更し、コスト縮減に努めている。 ・全線において全面展開工事に着手しており、代替案の可能性は無い。	H30	継続
						H26	R4	142.9															